



## 平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年7月11日

上場会社名 コーナン商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7516 URL <http://www.hc-kohnan.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 疋田 直太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役・上席執行役員 (氏名) 宮永 俊一郎 TEL 072 (274) 1621  
 管理本部長 (兼) 総合企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第1四半期の業績 (平成26年3月1日～平成26年5月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	74,537	6.1	5,327	30.4	4,866	50.1	2,921	56.4
26年2月期第1四半期	70,264	△1.0	4,083	△24.9	3,241	△32.5	1,867	△29.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	84.43	84.21
26年2月期第1四半期	53.98	53.83

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第1四半期	283,082	85,604	30.2	2,474.03
26年2月期	271,009	83,246	30.7	2,405.88

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 85,604百万円 26年2月期 83,246百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	16.00	—	16.00	32.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期 (予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	143,300	2.1	7,400	2.0	6,400	1.5	3,500	△3.6	101.15
通期	280,000	2.3	12,500	4.3	10,500	2.4	6,000	404.0	173.40

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期1Q	34,682,113株	26年2月期	34,682,113株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	80,998株	26年2月期	80,985株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期1Q	34,601,130株	26年2月期1Q	34,601,663株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、その四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続の実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成26年7月11日（金）及び7月14日（月）に機関投資家向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
4. 補足情報 .....	7
商品部門別売上高明細表 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

ホームセンター業界では、3月は消費税増税前の駆け込み需要により、生活必需品を中心に売上が大幅に伸びました。増税後の反動は少なからずあったものの限定的で、当期中の売上は総じて堅調に推移しました。今後については、消費者マインドの改善を背景に夏場以降の景気持ち直しが期待されますが、相変わらず不透明な状況が続いております。

なお、当社は、当社が輸入事業者として輸入及び販売した電気用品について、電気用品安全法に定める商品の安全性に係る義務を果たしていない商品があることが判明しましたので、5月20日より自主回収しております。

この様な状況のもと、当第1四半期累計期間にホームセンター4店舗（宮城県、三重県、京都府、岡山県）、プロを2店舗（宮城県、三重県）出店したため、5月末現在の店舗数は296店舗（ホームセンター254店舗、プロ42店舗）となりました。

売上高は74,537百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。商品部門別では、日用品、作業用品・資材などは高い伸びとなりましたが、自転車、インテリア用品は低調に推移しました。

売上総利益率は35.9%と前年同四半期比0.3ポイント低下しましたが、売上高が増加したことにより、売上総利益は26,792百万円（前年同四半期比5.4%増）と増加しました。営業収入は3,313百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。店舗数の増加に伴う人件費、賃借料、減価償却費などの増加により、販売費及び一般管理費は24,778百万円（前年同四半期比0.4%増）と増加しましたが、営業利益は5,327百万円（前年同四半期比30.4%増）となり、経常利益は、4,866百万円（前年同四半期比50.1%増）となりました。また、四半期純利益は、2,921百万円（前年同四半期比56.4%増）と増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (財政状態の変動状況)

当第1四半期会計期間末の総資産は前期末より12,073百万円増加し、283,082百万円となりました。建物が1,205百万円、商品及び製品が4,981百万円、現金及び預金が1,928百万円それぞれ増加したことなどによります。

当第1四半期会計期間末の純資産は85,604百万円で、自己資本比率は前期末より0.5ポイント低下し30.2%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ1,928百万円増加し、6,252百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が4,833百万円となった他、仕入債務の増加額8,682百万円などの収入がありましたが、たな卸資産の増加額4,995百万円及び法人税等の支払額1,322百万円などの支出により、9,751百万円の収入（前年同四半期比311.5%増）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出4,538百万円及び差入保証金の差入による支出704百万円などにより、5,129百万円の支出（前年同四半期比2.6%減）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、セール・アンド・割賦バックによる収入3,531百万円がありましたが、借入金の純減少額4,801百万円、配当金の支払額480百万円の支出等により、2,693百万円の支出（前年同四半期は2,958百万円の収入）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見込みとしては、売上高280,000百万円(前期比2.3%増)、営業利益12,500百万円（前期比4.3%増）、経常利益10,500百万円(前期比2.4%増)、当期純利益6,000百万円(前期比404.0%増)と見込んでおります。

上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,342	6,271
売掛金	3,473	4,150
商品及び製品	65,461	70,443
原材料及び貯蔵品	784	798
繰延税金資産	1,484	1,700
その他	5,220	5,998
貸倒引当金	△192	△201
流動資産合計	80,573	89,161
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	81,250	82,456
土地	29,218	29,167
建設仮勘定	1,307	2,283
その他(純額)	20,551	21,790
有形固定資産合計	132,328	135,697
無形固定資産	4,804	4,830
投資その他の資産		
投資有価証券	1,541	899
破産更生債権等	21	21
差入保証金	46,776	47,032
繰延税金資産	2,042	1,874
その他	2,980	3,625
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	53,302	53,393
固定資産合計	190,435	193,921
資産合計	271,009	283,082
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,219	27,902
短期借入金	13,000	4,000
1年内返済予定の長期借入金	30,438	29,607
1年内償還予定の社債	625	625
未払法人税等	1,505	2,077
賞与引当金	1,236	1,864
店舗閉鎖損失引当金	55	55
その他	10,425	12,597
流動負債合計	76,504	78,731

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
<b>固定負債</b>		
社債	156	—
長期借入金	72,410	77,438
受入保証金	13,765	13,619
商品自主回収関連損失引当金	7,434	6,954
資産除去債務	2,125	2,154
その他	15,366	18,579
固定負債合計	111,258	118,747
<b>負債合計</b>	<b>187,763</b>	<b>197,478</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	17,658	17,658
資本剰余金	17,917	17,917
利益剰余金	47,712	50,080
自己株式	△115	△115
株主資本合計	83,173	85,541
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	83	68
繰延ヘッジ損益	△10	△5
評価・換算差額等合計	73	63
<b>純資産合計</b>	<b>83,246</b>	<b>85,604</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>271,009</b>	<b>283,082</b>

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	70,264	74,537
売上原価	44,834	47,744
売上総利益	25,430	26,792
営業収入	3,331	3,313
販売費及び一般管理費	24,677	24,778
営業利益	4,083	5,327
営業外収益		
受取利息	32	34
受取事務手数料	14	9
為替差益	—	118
その他	17	32
営業外収益合計	63	196
営業外費用		
支払利息	539	518
為替差損	248	—
その他	117	138
営業外費用合計	905	657
経常利益	3,241	4,866
特別利益		
受入保証金解約益	43	42
特別利益合計	43	42
特別損失		
固定資産売却損	—	23
固定資産除却損	10	0
減損損失	—	51
特別損失合計	10	75
税引前四半期純利益	3,273	4,833
法人税、住民税及び事業税	1,405	1,966
法人税等調整額	0	△54
法人税等合計	1,405	1,912
四半期純利益	1,867	2,921

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	3,273	4,833
減価償却費	1,840	1,953
のれん償却額	41	41
商品自主回収関連損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△480
固定資産売却損益 (△は益)	—	23
固定資産除却損	10	0
減損損失	—	51
受取利息及び受取配当金	△32	△34
支払利息	539	518
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,003	△677
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,657	△4,995
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,848	8,682
その他	△582	1,604
小計	5,278	11,521
利息及び配当金の受取額	1	2
利息の支払額	△497	△451
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,412	△1,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,369	9,751
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,387	△4,538
有形固定資産の売却による収入	—	35
差入保証金の差入による支出	△627	△704
差入保証金の回収による収入	333	404
預り保証金の受入による収入	56	47
預り保証金の返還による支出	△218	△175
その他	△422	△199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,267	△5,129
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	7,000	14,000
短期借入金の返済による支出	△8,000	△23,000
長期借入れによる収入	12,000	11,900
長期借入金の返済による支出	△8,324	△7,701
リース債務の返済による支出	△101	△116
セール・アンド・割賦バックによる収入	1,525	3,531
割賦債務の返済による支出	△519	△669
社債の償還による支出	△156	△156
配当金の支払額	△465	△480
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,958	△2,693
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	61	1,928
現金及び現金同等物の期首残高	3,280	4,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,341	6,252



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### 商品部門別売上高明細表

商品部門別	金額(百万円)	前年同期比(%)
ホームインプローブメント (DIY用品)	30,511	106.6
ハウスキーピング(家庭用品)	29,847	106.8
カー・レジャー (カー・レジャー用品)	12,950	103.2
その他	1,227	105.5
合計	74,537	106.1

(注) 1. 商品部門別の各構成内容は、次のとおりであります。

- (1) ホームインプローブメント (木材、建材、工具、建築金物、塗料・作業用品、園芸用品、園芸植物、資材、エクステリア、水道、住設機器、リフォーム)
- (2) ハウスキーピング (ダイニング用品、インテリア、電材・照明、日用品、収納用品、薬品、履物・衣料、家庭雑貨品、家電、介護用品、フード、酒類)
- (3) カー・レジャー (カー用品、ペット用品、文具・事務用品、サイクル・レジャー用品)
- (4) その他 (バラエティグッズ、書籍、自動販売機、灯油)

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。